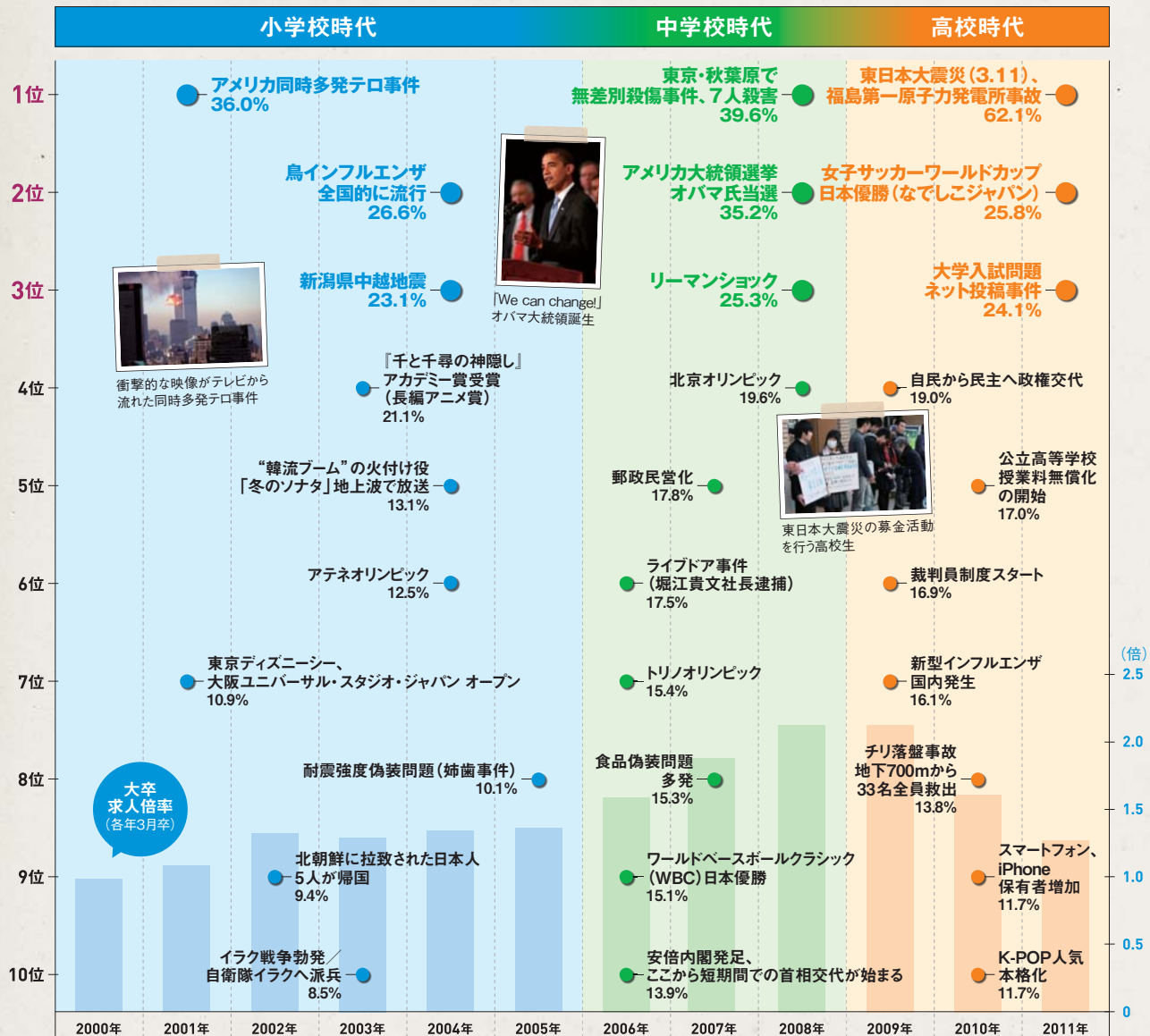


## 高校生の生きてきた時代～何が彼らに影響を？～

日常生活の様子から価値観を探る「高校生価値意識調査2012」。その結果の一部である、印象的な出来事と、景気の指標となる大卒求人倍率で、高校生世代が生きてきた時代を振り返ります。

### 長引く不況… 暗いニュース目立つ

●印象に残っている出来事(2000～05年、06～08年、09～11年それぞれについて3つまで回答。％は印象に残っていると回答した人の割合)



小学校時代は「アメリカ同時多発テロ」をトップに「鳥インフルエンザ流行」「新潟県中越地震」などが並び、衝撃的な映像に心を痛めた子どもたちも多いだろう。中学校時代も暗い事件が目立つ中、世界中が注目し期待感も高まった「オバマ氏当選」が上位に。高校時代トップの「東日本大震災」では、ボランティアや募金活動などを行う高校生の姿

も報じられた。男女別の違いを見ると、男子は「リーマンショック」「政権交代」などの政治・経済分野、女子は「鳥インフルエンザ」「秋葉原殺傷事件」など日常の平穏を脅かす出来事が高めた。こんな時代を生きてきた彼らの将来イメージやキャリア観はどうなっているのか。詳しい「価値意識調査結果」(★)はウェブで紹介していく予定だ。

出典：(印象に残っている出来事)リクルート「高校生価値意識調査2012」 調査方法：インターネット調査 調査対象：株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2012年3月時点の高校生を対象にスクリーニング調査を実施し、右記の①もしくは②に該当した者を調査対象とした。①2012年4月現在、高校2年生、3年生で大学・短期大学・専門学校いずれかの進学を検討している男女。②2012年4月現在、高校既卒者で、高校時代に大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討したことがある男女。 調査回収数：1239名 調査実施期間：2012年4月13日(全)～4月20日(全)  
(求人倍率)リクルート「ワークス大卒求人倍率調査」 ※求人倍率=求人総数/民間企業就職希望者数

写真：(左から)AFP=時事、AFP=時事、時事